

二松学舎大学国際政治経済シンポジウム
「東アジア共同体の可能性」

「成長思考の実践ー東軟集団 の創業実績よりー」討論用資料

2005年12月3日

浦上 清

浦上アジア経営研究所代表

特定非営利活動法人アジアITビジネス研究会理事長

東軟集団の成長と協働(1)

- 大学発イノベーションの創造
- 事業革新の三要素：人材、投資、インフラ
Council on Competitiveness(2005), “Innovate America”, Washington D.C.
 - 産学研、ソフトパークなど
- 戦略思考の事業化と組織化
 - 学習型の組織運営
 - 人材能力の育成と持続的な優位性の確保

東軟集団の成長と協働(2)

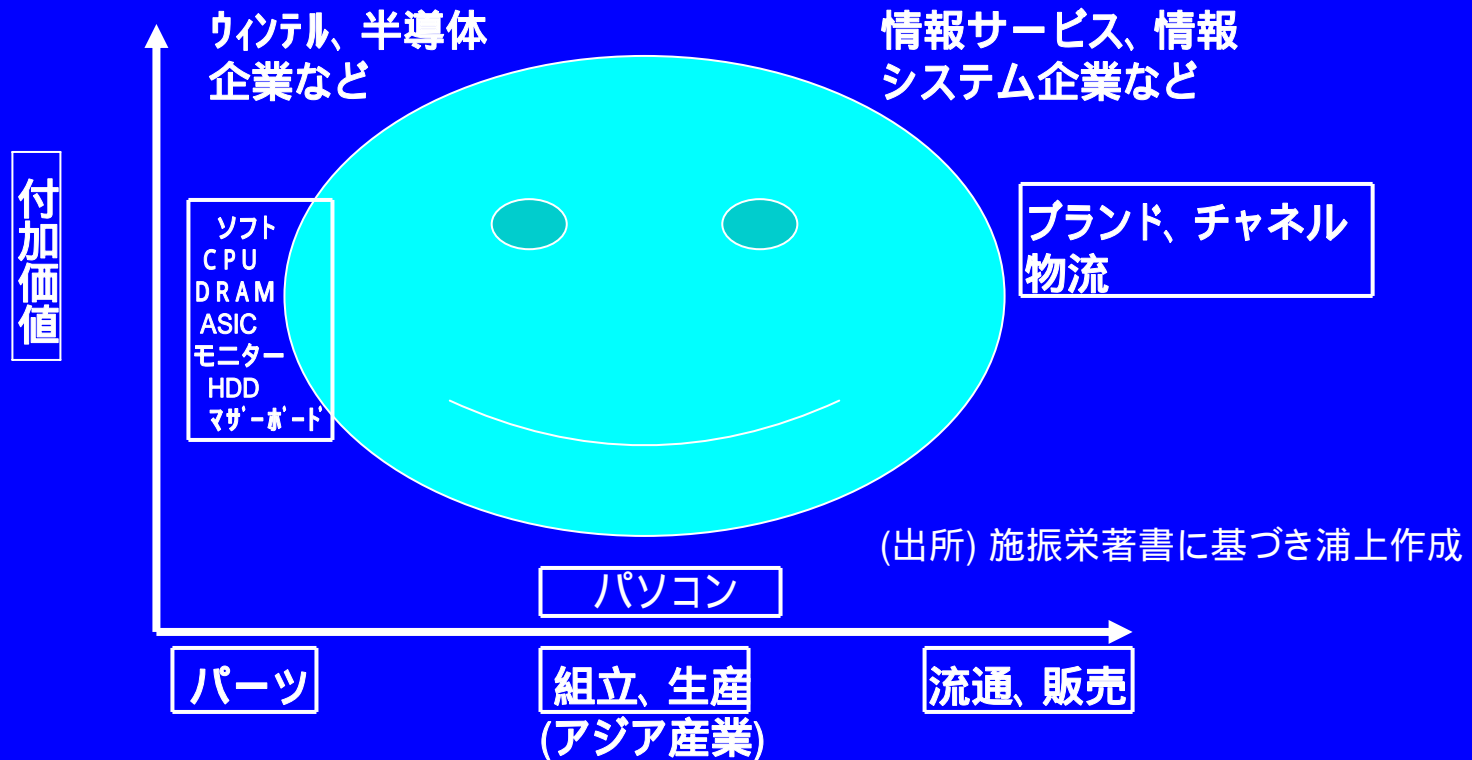
- 国内外企業との協働
 - 日本企業
 - Alpine, Toshiba, Sony, NEC, Hitachiなど
 - 米国企業
 - IBM, Sun Micro, Oracle, CA, Intel, Cisco Systems, HP, Quantumなど
 - 欧州企業
 - Nokia, SAP, Philipsなど
- 国際的な連携による企業成長

中国IT産業の形成

- 産業発展の契機としての改革開放による
外資導入と地場産業の形成
- 初期段階の起業
 - TCL 1981年、Haier 1984年、聯想 1984年
- 政府機関、大学初の起業のケース
 - パソコン：聯想(科学院)、北大方正(北京大学)
 - 聯想集団 柳傳志の「貿、工、技の手法」
 - ソフト：東軟集団(東北大学)

IT産業にみる国際分業と協業

- 「スマイルカーブ」(Smiling Curve、施振栄)  表示
- IT産業: ハードウェアはアジアへ、先端企業はサービス事業へ



新しいイノベーション環境 — つながった世界での革新競争 —

- Council on Competitiveness(2005), “Innovate America”, Washington D.C.
 - 「国際化」と「平準化」
 - “Talent”, “Investment” and “Infrastructure”
- Thomas Friedman (2005), “The World Is Flat”, New York
- MIT前総長Charles Vestの日立製作所での講演 (2005年11月)
 - “Innovation is global.”, “The accelerating rise of Asia in S & T.”, “Open Innovation”, “OpenCourseWare”

国際的な人材の中国シフト

- Business Week China Design特集記事(2005/11/21)

Here's a look at some of the names that are bringing innovative thinking and a fresh look to the Middle Kingdom.



Florian Petri(32)
Designer, Lenovo
Computer
Hometown
Darmstadt,
Germany



Eric Chen(34)
Designer, Motorola
Beijing
Hometown
Los Angeles, CA
USA



Kevin Ho(28)
Student, Tsinghua
University, Beijing
Hometown
Cupertino, CA
USA



Lars Blacken(28)
Freelance designer
Samsung Shanghai
Hometown
Seattle, Washington
USA

情報ソリューション事業

- **ビジネス環境**
 - ハードからソフトへの産業の流れ
 - アジア地域の役割の高度化
 - 世界的なレベルでの協働
- **東軟集団にとって更なる飛躍の機会**
- **中国・アジアの情報ソリューション事業の更なる発展と相互交流、協働の重要性**

劉董事長へのご質問

- 戦略目標、特に注力すべき事業分野
 - アプリケーション分野、受託vs自社ブランドなど
- 国際化及び「走出去」の中期的な目標
 - 国際提携の高度化、海外投資など
- これからの大学の役割
 - 研究、教育そしてビジネス